

アルカリ塩（炭酸ソーダ，セスキカーボネート，水ガラス，正磷酸ナトリウム等）	5~10%
中性塩（芒硝，食塩等）	5~20%
過硼酸ナトリウム	10~25%
硅酸マグネシウム	0~3%
蛍光漂白剤	0.1~0.5%
染料，香料	0.1~0.5%
消泡剤，凝結防止剤	0.3%
CMC	1~2%
水分	3~15%

白色洗濯石鹸は原則的には動物油 1/3，植物油 1/3，椰子油あるいはパーム核油 1/3 の混合脂肪を原料とし，動物油としては牛脂が良いが，実際にはこれら以外にパーム油，ババス油，落花生油，向日葵油，橄欖油，豚脂，硬化魚油，さらに樹脂酸を配合したものを原料としている。これらの原料油中ではパーム油が起泡性と石鹸に粘りを与えるために最も重要な成分ではあるが，赤黄色より赤色に変色するのであらかじめ脱色精製した原料を使用する必要がある。なおババス油はパーム油と似た効果がある。

豚脂は石鹸に硬さは与えないが粘りを与える成分として重要であり，落花生油は豚脂よりもさらに軟かくし，かつ石鹸の白色度を害するので多量に配合することは避けねばならない。現在オリーブ油（橄欖油）を石鹸原料に用いるのは産地などできわめて限られた量に過ぎず，最も多く消費されるものは硬化魚油で，非常に白色度の良い石鹸が出来るが泡立ちには少なく，かつ製品が脆くて砕けやすいので最高20%までが配合される。蓖麻子油は石鹸に粘りを与え延びを良くするが塩析し難いので3~5%程度配合する。

樹脂（松脂）は石鹸の貯蔵中の変質を防止するのに役立つので以前は 10% 近くも配合されたこともあったが，現在では 3~5% 程度を配合している。樹脂石鹸は起泡性も良く，特に急速に泡立つことが特徴であるが，原料油脂と同時に鹼化することが出来ないのので，石鹸を塩析精製した後に樹脂石鹸を混合しなければならない。

黄色洗濯石鹸は多くは原料として廉価な油脂，フーツ，骨油，綿実油，大豆油等を使用する関係から原料の不純物によって黄色を呈するので，製造法は白色洗濯石鹸と同様である。

家庭用洗濯石鹸は角型，棒型のものもあるが，使用に便利で溶解を迅速するためにフレーク状，鱗片状，ビーズ状，針状，粉末にしたものも多い。原料油としては牛脂，豚脂，椰子油，パーム核油，パーム油，落花生油，蓖麻子油等を用い，樹脂 0.5~1% を配合して鹼化したもので，時には着色剤，蛍光増白剤，香料なども配合する。

B. 化粧石鹸

入浴に石鹸を用いるようになったのは 15 世紀頃からといわれ，純度，皮膚に対する刺激性，外観，香気などよりきわめて品種が多く，その名称も化粧用石鹸として従来オリーブ油（橄欖油）より得たものが最も良質とせられていたため，商品名としてもオリーブ石鹸等の名が付せられ，時にはパーム石鹸，牛乳石鹸，玉子石鹸，蜂蜜石鹸，絹石鹸，真珠石鹸などと幻想的な名称を付しているが，今日では大部分が椰子油，パーム核油，パーム油等に牛脂その他を配合したものをを用いている。椰子油石鹸は起泡性は大であるが皮膚を刺激する欠点がある。通常石鹸，ことに洗浄作用の強力な合成洗剤が配合せられている時には脂肪分が完全に洗い取られ，乾燥すると藁が棕櫚のような手触りになるので，これを防止するためにその効果には問題があるが，オレイン酸またはラノリン，高級アルコール等が配合せられることがある。このような石鹸を過脂肪石鹸（Superfatted soap）を称していることはすでに説明した（第 234 頁）。

化粧石鹸の主原料は現在では牛脂と椰子油で，これに豚脂，パーム核油，落花生油などいずれも十分に精製した原料油脂あるいは脂肪酸を用いて核石鹸とし，これに香料，色素，時には殺菌剤，皮膚保護剤等を配合して成型，型打，包装するが，添加物についてはすでに洗浄，殺菌性の項で説明した。

化粧石鹸は大部分が枠練石鹸（Framed toilet soap）で，脂肪あるいは脂肪酸より作った石鹸がなお流動性を保っている間に染料，香料，その他の配合物を適当に添加して混和機（Crutcher）で混合してから固化乾燥せしめたもので，製造方法は比較的簡単であり，品質も必ずしも不良でなく，使用に当って消耗も少ないので洗顔浴用には従来より広く用いられていた。しかし，欧米では石鹸製品の大部分は機械練石鹸（Milled soap）で，化粧石鹸すなわち機械練石鹸という位である。この方法では鹼化が終わった後，塩析凝固した石鹸生地を細片機（Chipper）にかけて薄い細片あるいは鱗片状として水分 15% 程度まで乾燥した後に，染料，香料その他を添加し，捏和機（Milling machine），押し出し機（Plodder）にかけて棒状石鹸として押し出し，これを型打ちして製品とする。

また家庭用に使用される浮石鹸（Floating soap）は鹼化後空気を吹き込んで石鹸生地に多数の空気泡を生成せしめた白色枠練石鹸の一種で，比重が水より軽いので水に浮くことよりその名があるが，水に溶解しやすく，貯蔵中に亀裂を生じない利点がある。アメリカの Ivory Soap というのはこの別名である。

C. 液体石鹸

最近家庭洗剤として洗濯用に液体石鹸（Liquid soap）を用いることが多くなったが，